国内債券見通し

情報提供資料
2026年10月5日

マーケットの動き（2026年9月28日～10月2日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利はほぼ横ばいでした。
9月30日には日本時間午後に米長期金利の上昇が一服したことや、国内2年債入札が無難な結果と受け止められたことなどから、国内長期金利は低下しました。しかしその後は、10月1日には米長期金利の上昇を受けて国内債券にも売りが広がり、長期金利は前週末とほぼ同水準で週末を迎えました。
クレジット市場は、概ね横ばいで推移しました。

投資環境見通し（2026年9月）

国内長期金利の上昇圧力が続く

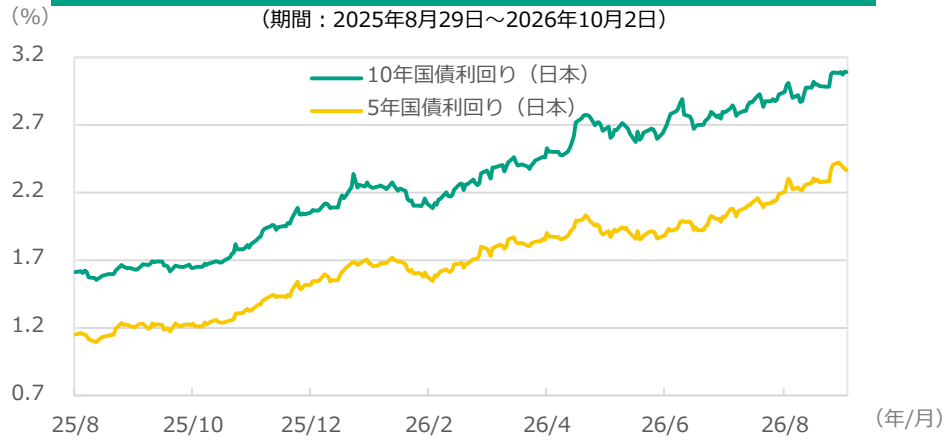
日銀が9月の金融政策決定会合で利上げを決定し、利上げペースを加速するとの見方が広がっています。国内長期金利はこれまでの上昇局面で、投資家の予想する政策金利の最終到達水準がすでに相当程度切り上がっているとみられますが、財政拡張政策に対する懸念もあり、上昇圧力は続くとみています。

	10月2日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1ヵ月前比	6ヵ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%）（変動幅）	3.09	0.00	0.08	0.71	1.44
NOMURA-BPI総合（騰落率）	319.91	▲0.06%	▲0.16%	▲3.20%	▲6.79%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日）までとします。
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202609_outlook.pdf

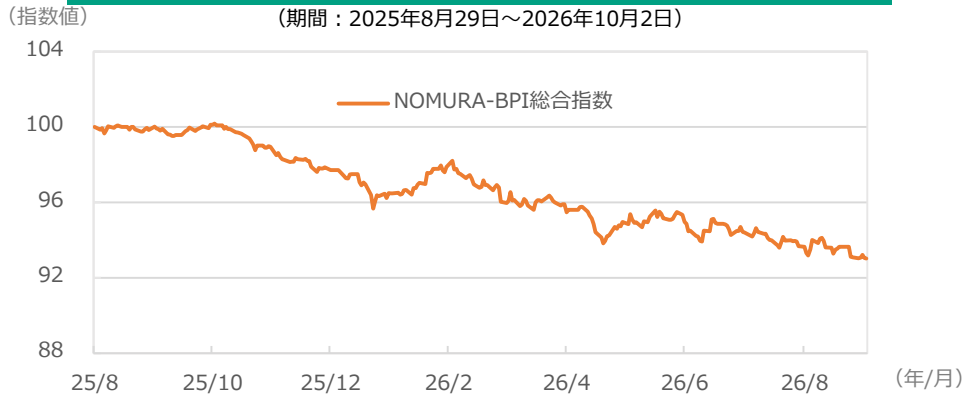
日本国債利回りの推移

（期間：2025年8月29日～2026年10月2日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2025年8月29日～2026年10月2日）



※2025年8月29日の値を100として指数化
※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようにお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。https://www.myam.co.jp/market/report

明治安田アセットマネジメント
明治安田アセットマネジメント株式会社　金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第405号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会